

Japanese Utility Model Laid-open No. Sho 62-155535

### HELMET WITH RADIO COMMUNICATION UNIT

#### Claims:

(1) A helmet with a radio communication unit, characterized in that, on at least one of a radio communication unit body which has a radio communication circuit built therein and an outer peripheral portion of said helmet, a binding member for allowing said radio communication unit body to be removably supported on said helmet is provided, and a microphone and a speaker are removably mounted on said radio communication unit body.

(2) A helmet with a radio communication unit according to claim 1, characterized in that a face of the side of said radio communication unit body which faces said helmet has a shape which conforms with a curved line of an outer profile of said helmet.

## ⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

## ⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭62-155535

€01nt,Ci,⁴		認利記号	斤内整理番号	<b>亞公開</b>	昭和62年(19	37)10月2日
H 04 B A 42 B	1/38 1/24 3/00		7251-5K 6704-3B 6704-3B			
H 04 R	1/02	318	D - 7314-5D	審査請	求 未請求	(全6頁)

砂考案の名称

無線通信後付きヘルメツト

②実 顧 昭61-43732

色出 顋 昭61(1986)3月24日

砂岩 案 坔 大 垣 墫 聚 迎考 案 武 君  $\blacksquare$ 和 馬 の出 額 人 アルパイン株式会社 東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルバイン株式会社内 東京都大田区雪谷大塚町1番7号 アルバイン株式会社内

東京都大田区智谷大塚町1番7号

②代理人 弁理士西脇 民雄

#### 砂実用新案登録請求の範囲

- (1) 無線通燈回路を内臓する無線通信接本体とヘルメントの外間部との少なくとも一方に、前記無線通信機本体を削記ヘルメントに看脱自在に支持させる結構部材が設けられ、マイクとスピーカとが前記無線通信機本体に対して滑脱自在であることを持酸とする無線通信機付きヘルメント。
- (2) 前記無線通信後本体の前記へルメットに隠む 師の面が、該ヘルメットの外形曲線に沿う形状 とされていることを特徴とする実用新案登録語 求の範囲第1項に記載の無線通信機付きヘルメ ット。

#### 図面の簡単な説明

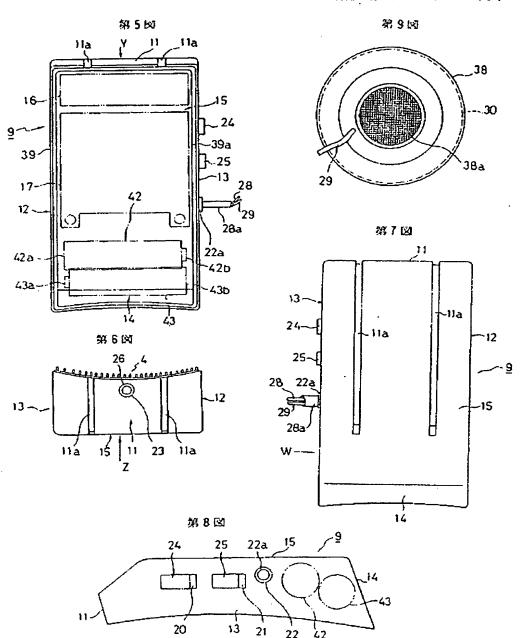
第1図〜第15図は、本考案に係る無線通信機付きヘルメントの第1実施例を示す図であって、第1図はその無線通信機付きヘルメントの外観図、第2図はその無線通信機付きヘルメントに使用する結響部材としてのマジックテープの断面図、第3回はその無線通信機本体の断面図、第4図はその無線通信機本体の断面図、第4図はその無線通信機本体の断面図、第4図はその無線通信機本体の断面図、第4図はその無線通信機本体のがある。第5図は第5図は第5図に示す意体を矢印X方向から目視した図、第6図は第5図に示す

す筐体を矢印Y方向から目視した図、第7図は茅 6回に示す魔体を矢印工方向から目視した図、第 8 図は第7 図に示す筐体を矢印W方向から目視し た図、第9図は本考案に係る無線通信膜のスピー カを示す平面図、第10図、第11回は本考室に 係る無線通信機のマイクを示す平面図、第12図 は本考案に係るヘルメットの綴断面図、第13図 は第4回に示す蓋板の平面回、第14回は第13 図に示す蓋板を矢印V方向から目視した図、第1 5 図はその蓋板の縦断砂図、第16 図~19 図は 本考案に係る無線通信機付きヘルメントの第2実 施例を示す図であつて、第16図はその無線通信 機付きヘルメツトの外観図、第17図はその無線 通信機の筐体の拡大平面図、第18図は第17図 に示す筐体の上面図、第19図はその筐体の背面 図、第20図は第1実施例の変形例を示す図であ つて、ヘルメットの頂部に係止突起を設けた状態 を示す図である。

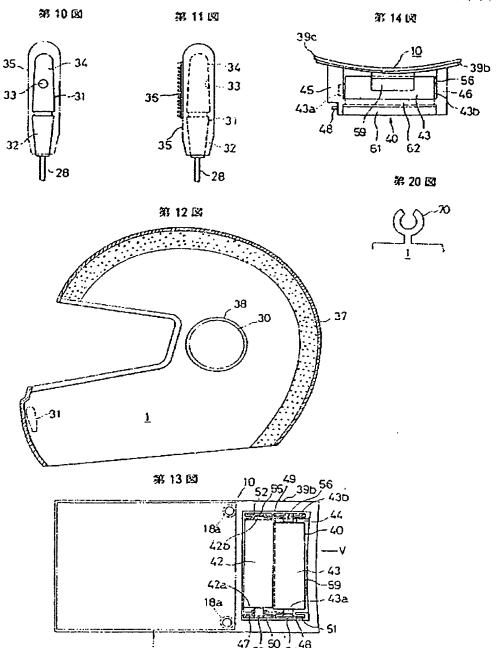
1……ヘルメツト、2……無線適信機、3……無線通信機本体、4、5……マジツクテーブ(結 碧部材)、9……筐体、22a……コードコネタ タ、30……スピーカ、31……マイク。

樂階 昭62-155535(2) 第1図 (-27a 1 la 在3回 释 2 🗷 60 15 48.4 図 396 39c 57 58 100 19

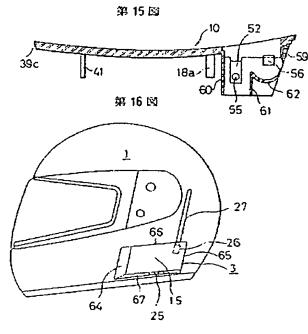
# 実開 昭62-155535(3)

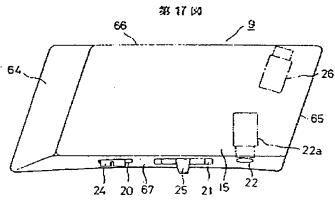


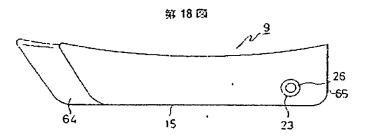
# 実明 昭62-155535(4)



現開 昭62-155535(5)







実閥 昭62--155535(6)

# 第19段

